

南那須地区介護支援協会

令和 YY 年度 MM 月定例会

模擬事例検討会

～メモなし・壁なし・だんまりなし～

日時： 令和 YY 年 MM 月 DD 日 (aaa) HH:MM ~ HH:MM

場所：

進行：

スケジュール：

- 14:00 開会
- 14:02 会長挨拶
- 14:05 事例検討会の進め方説明 オリエンテーション
- 14:10 事例検討
- 15:20 全体のまとめ
- 15:25 その他
- 15:30 終了

事例提供：

ファシリテータ：

板書記録：

スーパービジョンにおける関係性

- ☞ バイジー： 事例提供者
- ☞ バイザー： ファシリテーター・板書記録・参加者
バイジーへ質問による気づきを与える。



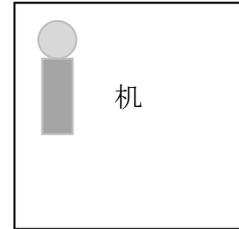
ホワイトボード

ホワイトボード

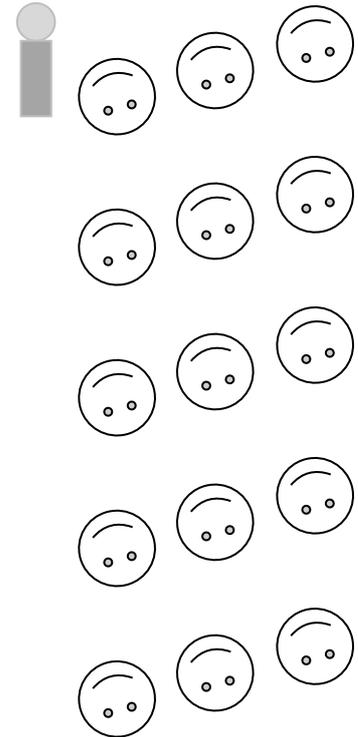
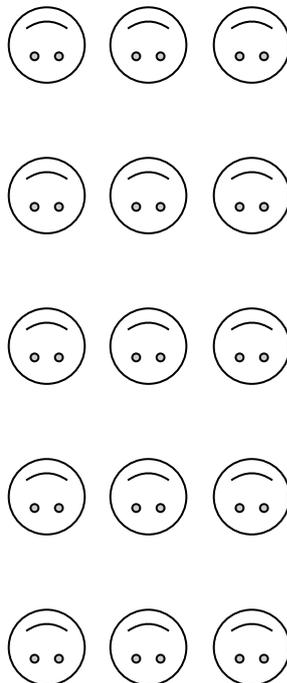
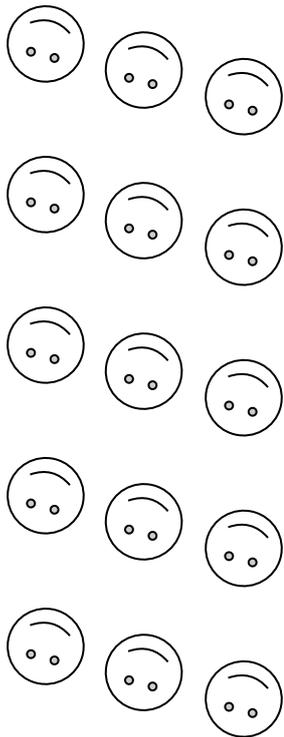
 板書記録A

 板書記録B

 事例提出者



 ファシリテータ

アイスブレイク余地

事例検討会の流れ

事例提供者

司会

記録

参加者

10分

事例提供者が、事例概要を説明します。

提供する事例の基礎的なデータの一部。
事例提供者自身が行ったアセスメントの結果、事例検討会の場で検討して欲しいと思っていることについて。（事例提供者自身が困っていること、負担に感じていることを具体的に説明。）

35分

参加者全員で、事例の全体像を把握して再アセスメントします。

- ★ 参加者が、事例提供者に「質問」する形式で、事例の全体像を捉えます。
- ★ “一問一答”を原則としましょう。回答するときには、事実、本人、家族の言葉、自分の感想を区別して答えましょう。
不明な点、把握していない場合はそのように答えます。想像は厳禁。
- ★ 質問内容はわかりやすく。意味がわかりにくい場合は、その情報が必要かも簡単に説明しましょう。
- ★ 「全員で心がける会議ルール」を忘れずに

25分

問題点の確認をして、全員でプランニングを考えます。

- ★ブレインストーミングの手法で行います。
- ★現状ではないサービスや方法であっても、“こんなサービスがあったらいいな”という意見、大歓迎!!

10分

まとめ。

- ★事例提供者は、事例検討をしてもらって「よかった」と思えたでしょうか。また、明日からの取り組みに何かヒントはあったでしょうか。
- ★参加者の皆さんは、どんな“気づきがあったでしょうか”

～ 全員で心がけるルール ～

参加者の皆さん！ 事例検討会は、聴いていけばいいと思っていないませんか？ この会の成功のカギを握っているのはあなたです。

事例検討会は「あらさがし」をする場でも、「犯人さがし」をする場でもありません。
参加者が多くの視点から事例をもう一度振り返り、意見を述べ、考えを広げ、深めていく作業を行う場です。

目標は「参加者一人一人が気づいたことを持ち帰り明日からの業務に活かす」。

その参加者とは、あなた自身です。そして参加者が協力的であるだけでなく、細やかな気配りをする
ことで、事例検討会の「質」と「生産性」は、飛躍的に高まります。

そこで次のことを「全員で心がける会議ルール」にしたいと思います。

「全員で心がけるルール」は簡単!! 聴くときは？

1 目で聴く

「顔をあげない姿勢」が多いと、発表者や発言者から「表情」が確認できず、不安な気持ちにさせます。また、ここでは事例概要等は配りません。すべての情報はリアルタイムで目の前のホワイトボードに書き込まれていきます。ですから、発表者、発言者の声に耳を傾け、しっかりと顔を上げて、目で聴きましょう。

2 態度で示す

うなすく、身を乗り出すなど

3 表情で示す

微笑む、真剣に見つめる、笑うなど

発言するときには？

・内容はわかりやすく

誰もが理解できる表現で。専門用語を使う場合は簡単な説明を加えて。

・分かり易い話し方で

①大きな声で話す ②はっきりと話す ③ゆっくりと話す

・事例の批判はしない

これからできることを考える場です。過去の取り組みについて、やっていないこと、できていないことを探す時間ではありません。

・発表者、発言者の意見や発言は否定しない。

あなたの病院・施設・事業所とは違う取り組みや方針、あなたと違う視点や意見など、違うことから「気づき」がたくさん生まれるはずです！

・「共感的な話し方(表情)」と「あたたかみのある話し方」

・時間を守った発言を



思い込みを捨てよう。

できる可能性を探そう。

こんなことを言ったら笑われるのでは？と恐れていては何も始まりません。

手立てを考えるときは質より量です。斬新な意見大歓迎です。

【 南那須地区介護支援協会が目指すべき事例検討会 】

● グラフィック化する項目

1. 家族状況（ジュノグラム）
2. エコマップ 要介護者を中心として、その周辺にある社会資源（家族、兄弟姉妹、友人、近隣住民、医師、各種介護関連機関など）との相関関係を、ネットワークとして表現した地図のことです。
3. 生活歴
4. 一日の流れ

● 質問の内容について

1. 上のグラフィック化する項目が見える化できるような質問をしていく。
特に、エコマップの関係において利用者・家族・地域のストレンクスが見えるように質問する。

● 会員が目指すべきスキルについて

1. 事例検討会をファシリテートできる。
2. ファシリテーショングラフィックを描けることができる。
3. 事例提供者が自ら気づくことができるような質問ができる。
4. 事例検討会参加者としての参加であっても、その場の雰囲気を作り出すファシリテーターとしての意識を持つことができる。

● 事例検討会の雰囲気

1. 事例提供者が安心して事例提供できる雰囲気。☞ 事例内容の指摘・指導ではなく、事例提供者が質問に答えることで、自然に自身の答えが見いだせるような雰囲気。
2. 事例検討会が『楽しい』と感じられる雰囲気。